

大月市第7次総合計画審議会 第4回議事要約

日 時 平成30年1月30日（火）午後7時から8時30分まで
場 所 市民会館4階 視聴覚室
出 席 者 審議会委員21名（別紙名簿のとおり）
大月市：総務部長、企画財政課長、企画財政課企画担当3名
欠 席 者 審議会委員5名

2 議事

(1) 総合計画について

【内容】

第7次総合計画の基本計画について、第3回審議会において意見のあった基本目標を追加したこと、簡易水道、市立中央病院、学校教育の部分について、意見のあった部分を修正した説明があった。

配付した指標の現状値と目標値を記載した資料について、説明があった。
(事務局修正説明)

53頁：市民一人あたりの「市民」を削除する

53頁：地域の運動会などを「各種大会」に修正する

83頁：現状値を「3箇所」、目標値を「5箇所」に修正する

【会長】

説明が終わったが、質疑等あるか。

【委員】

男女共同参画の関係で、79頁に載っている指標の考え方が違うのではないか。指標名「出前講座等啓発活動の実施」であるが、男女共同参画で実施しているが、指標の考え方において「女性が市政に参画しやすい環境づくり」とあるが、女性が地域社会で、例えば自治会等において参加者が非常に少ない。女性の参加率として、区長、公民館、自治会長の数字を載せられ、目標値を掲げられたい。

市の発表している公民館長に女性はいない。公民館主事も無し、公民館分館長で1名いるだけである。女性市議会議員もいない状況である。女性の市議会議員候補者を選出するにも地域の力が必要である。女性の人材育成に力を入れていただき、女性の社会参加を市でも後押しされたい。

山梨県の男女平等参画プランにおいては、目標値や達成値が記載してある。大月市第6次総合計画においても、男女共同参画の部分が少なかった。

昨年、市職員の配偶者が出産したのが11事例あるが、男性の介護休暇を

取得した職員はいなかった。法律があるにも関わらず、市の職員が取得していないのは寂しい。地域に女性の活躍する場が広がるように、数値目標を載せられたい。

例えば「自治会長の女性の割合」といった目標値を掲げられたい。

【会長】

意見等あるか。難しい問題である。大月市だけでなく、山梨県や国も成果が上がっていない。強制的に数値を上げることは非常に難しいと考える。

【事務局】

委員から意見が無いようであれば、大月市では男女共同参画プランがあり、この中には成果指標が掲載されている。

また、委員の発言された「自治会の代表における女性の割合」といったことを設定することは可能である。

調整しながら、成果指標として加えることは可能である。話しを持ち帰り担当課と検討したいが、プランにも載っていることから重複すると考え、掲載の仕方を工夫した。

【委員】

異議なし。

【委員】

28頁、中央病院についてであるが、経営形態を見直すところがあるが、それが最初に位置付けされ、話の中身が、色々な病院と連携するではないか。

施策項目①病院機能の充実と②運営体制の整備充実の順番を入れ替えられたい。

まず、運営体制を整備し、つぎに病院の機能を充実させ、そして他の病院と連携するという「《施策項目》、《計画施策》の順番を入れ替え」を検討されたい。

病院の経営形態を見直すことは、第7次総合計画の目玉になる部分である。《基本目標》の試案として、「中核病院である市立中央病院の経営形態を見直すとともに、地域医療の連携による充実した医療が提供できるまちをつくれます。」はいかがか。

経営形態を見直すことが、第7次総合計画の前期の大きな目標ではないか。強く書かれるように提案したい。

【事務局】

優先順位ということはないので、順番を入れ替えたい。意見のとおり修正することを前提としていきたい。中央病院と検討したい。

基本目標においても、書き替えることを前提に進めたい。

【委員】

最近、病院について動きがあるように感じているので、表現については事務局に一任するが、目玉となる状況となるならば大きく書かれない。

【委員】

43頁の《基本目標》に付加されたいが、子どもの個性に応じたきめ細かい学校教育を目指し、教育環境や指導体制を充実し、幅広い人材が教育現場で活躍するまちをつくりたい。を「社会のニーズと子どもの個性」と加えられたい。指導内容や小学校に英語教育が入ってきて要求が上がっている状況である。さらに、教育施策との整合性を図る意味で、「教育内容や教育環境」を加えられたい。指導体制とともに大月市は教育相談や特別支援も行っているため、「支援体制や指導体制」と加えることで大月市の教育を象徴した現状に合うものではないか。

【事務局】

修正を前提に再度確認しながら修正したい。

【会長】

《現況と課題》についても、見直しされたい。社会のニーズといった言葉を加え、整合性を図られたい。

【委員】

88頁、大月都留広域事務組合運営の充実とあるが、ごみ処理の広域化について特には無いが、総合計画前期は5年、将来的には10年であるから、動きのある雰囲気も感じられるので検討し、ひとことでも入るならば入れられた方が、地元に対してもいいのではないか。

【事務局長】

目標年次は2022年である。前期5年の計画となることから、どの程度表現できるか、担当課等と確認したい。

【委員】

44頁、④特別支援教育の充実の部分で、様々な障害により学習に支障をきたす児童・生徒に対しとあるが、捉え方が今の学校教育では異なる。

特別支援教育は、LDや知的障害や情緒障害を持っている子ども達に対して行う教育と読み取れてしまい、差別的な感じになる。

本来の特別支援教育は、何らかのことで通常学級にいる特に必要のない子どもでも、その子どもが必要であるというならばするという教育が、特別支援教育である。「特別な支援を必要とする子どもに対し」が差別的ではなく、これからの10年を教育するのにいいと考える。

【事務局】

担当課と確認し、修正する方向で調整したい。修正の後、確認願いたい。

【会長】

障害の「がい」の字も併せて修正されたい。

【事務局】

福祉課からは、平仮名で表記されたいとのことであったが、例えば第3次障害者計画といったものについては、計画名称からそのまま載せている。

「特別な支援を必要とする子どもに対し」と記載していきたいと考える。

【委員】

農林業、商工業、観光業といった部分で、市議会特別委員会において、市内で買い物をしましょうという条例の作成を検討している。

大月市内でどれだけの方が買い物をしているか、議員になった当初は30%弱であった。農業、工業、商業、観光業といった分野は、活力あるまちづくりを作るために必要なのは売り上げである。

金額的なものであったり割合を表記するべきではないか。検討されているかと思うが、額を表記してほしい意見である。

【会長】

具体的にはどの部分、何頁か。

【委員】

54頁農林業、57頁商工業の振興、60頁に観光がある。どれも活性化に絡むことであり、売上金額が大事ではないかと考える。

【事務局】

金額の反映について意見があったが、指標作成にあたり目標数値をどう捕捉するのが難しい。

具体的な数値は、ひとつ下の個別計画で行っていきたいと考える。

例えば、商業振興計画といったもので実施していければと総合計画の中では考えている。

【委員】

例えば、観光のところでも61頁に岩殿山や猿橋への入込者数、登山客数とあるが、これらが最上位の計画に書いてあることの方がおかしいのではないか。

各下位の計画で係わるべき計画であり、下位計画の数値が積み重なってきて、多くの観光客が訪れ、商店に人が集まった結果、売り上げにつながるのではないか。細かいものをまとめたものを総合計画に載せる方が、道理に合っているのではないか。

目標を設定するのが難しいから行わないのではなく、定点的につかめる売上数値であれば、経済センサス等にあるのではないか。数値を引用して目標設定をしていかれたいので、再考を依頼したい。

【事務局】

検討するものについては意見を持ち帰るが、追加の指標として可能であるならば事務局としては総合計画に載せていきたいが、今の意見を、具体的に何をどの額を設定してという意見をいただきたい。

【委員】

いま、額を持ち合わせていない。

【事務局】

目標値は後で構わないが、成果指標を、例えば、「商店街の売り上げ」といった目標にするといった、具体的な意見をいただきたい。

【委員】

いつまでに意見を出せばいいのか。書面にて後日提出したいと考えるが。

【事務局】

総合計画の審議委員として集まっていた。意見として出されているものについては、他の委員から意見が無かったので、そういう風にした方がいいという判断であろうかと事務局は捉えている。

委員も、この場で発表していただき、他の委員が納得される、されない、あるいは反対の意見もあるかもしれないので、後で意見されるよりは、この場で発表されたい。

【委員】

了解した。売上金額については、審議会委員の中の意見をいただきたい。

【委員】

委員に逆に伺いたい。その数字が大月市内で細かく出せるのか。例えば、旅館の売り上げがいくら、商店の売り上げがいくらといった数字が出せるものなのか。

【委員】

リーサスという経済的な出荷額を総務省でインターネットにおいて、お金の流れや金額が見られる。旅館の売り上げといった細かい部分までは出ていないかもしれないが、商業、工業の売り上げの金額は出ると考える。実際に総合計画に反映し載せている自治体を見ているので、発言した。

あきらかにこの数字が出るというものを意見として挙げられないが、出来ないことではないと考えている。

【委員】

市町村毎に出るものなのか。

【委員】

長野県飯田市に出ていたと記憶している。リーサスは、市町村毎に出ている。

【事務局】

リーサス自体は、経済センサスを機械的に集計し出しているだけであると
感じている。数値自体は5年毎であることから、経済センサスの集計は出る
が、毎年ではない。総合計画の指標は、毎年であることから疑問である。

不確定な中での話しであるので、この件については、持ち帰り、指標の数
値として数字が把握出来れば載せ、出来なければ出来ないとしたい。

【会長】

目標値が金額とは、目標が達成出来なかった場合、行政としてどうするの
か。行政としては、環境を整えることの目標はあっても、売り上げをいくら
にしろという目標は、総合計画の目標にそぐわないと思うがいかがか。

【事務局】

飯田市は、何を成果指標としているか教えてほしい。

【委員】

議会で視察に行った時に、経済的な目標をたてていた事例を出していた記
憶がある。

【会長】

審議会自体が大詰めである。大幅な変更には対応しかねる。検討する時間
も無い。

目標は、行政が関与できるような、例えば企業誘致を目的とするといった
ものであれば可能と考えるが、金額が目標値に達し無かった場合、誰がどう
責任をとるか、先に進めるかが悪かった部分が分からないのではないか。

【委員】

会長のおっしゃる通りである。売り上げの数値をだすことは、それぞれの
仕事の努力である。行政、市としてどうバックアップするのかというのがこ
の計画の中身と感じる。売り上げがこうで、どのくらいにするという評価は
違うと考える。

【会長】

行政が色々な場面で目標値を設定して、うまくいったいかないはあるが、
結果、市内の商工業の売上が上がったというのは、最終的な数値としては
いいが、数値そのものは違うのではないか。

【委員】

他の人の意見を聞いた上で、検討して、皆さんの意見がそぐわないとい
うのであれば構わない。

【会長】

大月短期大学では、飯田市を研究課題としている先生がいる。飯田市と大
月市は何が違うのか、全体として良い事例なのかわからないが、また披露す

る機会もあると思うので、このような表現としたいがよろしいか。

【委員】

農林業、商工業に限っての売り上げの話しか。

【委員】

そうである。出来るなら載せたい。

【委員】

大月市内の農業自体、自給自足程度である。具体的に金額的に目標としては表わせないのではないか。比較で2016年のデータが把握可能かどうかというとなると難しいと思うが。

【委員】

6次産業化が無く、目指すと総合計画に表記があるので、作って加工して売ってという工程の中で、6次産業化を目指すのであれば、金額的なことが表現されていけば前向きなのかと感じる。

【委員】

第7次総合計画の前期計画は5年以内にやることであるが、実施計画はどういう考え方でいるのか。今、実施計画と基本計画が一緒になっている話である。

商業については、商業統計といった各種統計がある。それぞれの生産額を元にして計画が作られているのであるから、予定している計画でできるのか。

【事務局】

総合計画の作りとしては、10年間の基本構想、5年の前期計画、5年の後期計画、実施計画は3年で、毎年度ローリングし見直している構成となっている。

実施計画の話しを揉んでいないという意見であるが、実施計画について、実際には市の事業として行っている。基本計画で行う部分と多少混同しているが、施策を実施計画の中で行っていく。市の事業のひとつひとつである。

毎年度市で各課とヒアリングしながらどういった事業を行うのかを進めており、成果指標以外のものが多くある。

【事務局】

実施計画は、市の事業を予算金額ベースで積み上げているものである。

今後3年間、どのような形で進めていくか執行部で作る位置付けとなっている。

【委員】

実施計画は、具体的な金額ということか。

【事務局】

そうである。

【会長】

総合計画が上位にある。実施計画がそれぞれ細かい部分を表現しているということであるので、作りはこれで構わないとのことである。

他にあるか。無ければ委員からの意見について修正するが、概ねこういう形態でいくがよろしいか。

【出席者】

異議なし。

(2) 今後のスケジュールについて

3 閉会

第4回大月市第7次総合計画審議会を閉会する。